

サイバー大学 IT総合学部
専門応用科目
Web応用

第3回
Webページの
コンテンツの制御 1
中島 俊治

第3回 学習目標

Webを操作するJavaScriptの重要な機能「要素の取得」を解説し、コンテンツの書き換えによる出力方法を学ぶ。

第3回 授業構成

- 第1章 「要素の取得」の概要
- 第2章 「要素の取得」の記述
- 第3章 ページ出力(1)
- 第4章 ページ出力(2)

Web応用

第3回 Webページのコンテンツの制御 1

第1章 「要素の取得」の概要

第1章 学習目標

JavaScriptが要素にアクセスするための「要素の取得」の方法とページへの出力を理解できる。

講義項目

この章の講義項目は次の通り。

1. 「要素の取得」の概要
2. document オブジェクト
3. 2章以降の解説

第1章 「要素の取得」の概要

1. 「要素の取得」の概要

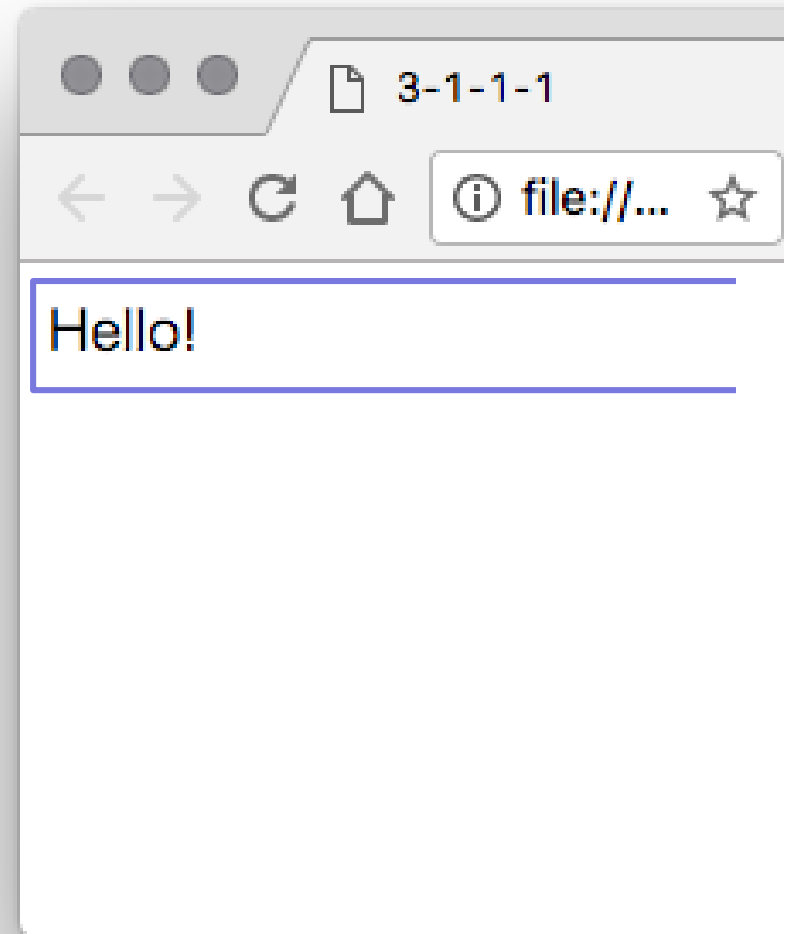
1-1. 要素の取得とは(1)

要素とは

- 開始タグから終了タグまでのひと固まりのグループ。

`<p>Hello!</p>`

- ページを構成する最小単位(→要素)



1-1. 要素の取得とは(2)

要素の取得

- 要素をJavaScriptで扱えるようプログラムに取り込むこと。
- 要素はidで指定する（class単位、タグ単位で指定することもできる）。

第1章 「要素の取得」の概要

2. document オブジェクト

2-1. document オブジェクト

document オブジェクト

- HTMLソースを解釈し、ページに要素を表示するオブジェクト。

要素の取得

- **document.getElementById("id名")**
 - Elementは要素の意味
 - id名は取得したい要素のid名
 - 大文字小文字の区別に十分注意

2-2. オブジェクトについて

オブジェクトとは「もの」。例えば「データの集まった箱」のようなもの。

- オブジェクトはプロパティを持つ
 - `document.bgColor` (背景色)
 - `document.location` (URI)
- オブジェクトはメソッドを実行する
 - `document.write()` (文字列を表示する)
 - `document.clear()` (内容を消去する)

2-3. 要素を取得①

1. 要素にidを指定

```
<body>
```

```
<p id="box1">こんにちは</p>
```

2-3. 要素を取得②

2. 要素を取得

```
<body>  
<p id="box1">こんにちは</p>  
<script>  
    document.getElementById("box1");  
</script>
```

2-3. 要素を取得③

3. オブジェクトにする

```
<body>  
<p id="box1">こんにちは</p>  
<script>  
    var box1=  
    document.getElementById("box1");  
</script>
```

2-3. 要素を取得④

4. オブジェクトに出力する

```
<body>  
<p id="box1">こんにちは</p>  
<script>  
  var box1=  
  document.getElementById("box1");  
  box1.innerHTML="おはよう！";  
</script>
```


第1章 「要素の取得」の概要

3. 2章以降の解説

3-1. 2章「要素の取得」の記述

要素の取得の方法を理解できる。

- body要素内に出力先を設定
- script要素内で要素を取得

3-2. 3章 ページ出力(1)

Webページへの出力の方法を理解できる。

- innerHTML
- 計算結果を出力
- 開発者ツール

3-3. 4章 ページ出力(2)

テキストだけではなく、HTML要素を出力する方法を理解できる。

- タグの出力
- 画像を表示

第1章 まとめ

Webを操作することのできる JavaScript の重要な機能「要素の取得」とページへの出力を理解した。

Web応用

第3回 Webページのコンテンツの制御 1

第1章 「要素の取得」の概要 終わり